

令和2年度 第1回生駒市環境審議会 会議録

1 開催日時 令和3年2月18日(木) 14時00分～16時05分

2 開催場所 生駒市役所 4階 403・404会議室

3 審議事項

(1) 「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」について

(2) 「生駒市の環境」について

(3) その他

(以下、敬称略)

4 会議出席者

会長 水谷知生

副会長 河瀬玲奈

委員 沢田かおる 成田智樹 藤澤清二 西口まゆり

竹本和靖 矢田千鶴子 楠正志 当麻潔 田中純子

事務局 岡田敬 市民部長

領家誠 地域活力創生部長

奥田和久 環境保全課長

竹本好文 SDGs推進課長

木戸勇 環境保全課課長補佐

木口昌幸 SDGs推進課主幹

鳴川敦士 環境保全課事業係長

北里直之 環境保全課保全係長

高松隆司 SDGs推進課低炭素まちづくり推進係員

藤村佳生 SDGs推進課低炭素まちづくり推進係員

14時00分 開会

5 審議内容

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 委員紹介

事務局より紹介

(4) 審議事項

以下、発言要旨。

事務局

本日の会議の成立について報告。全委員14名のうち11名の出席により会議は成立。

傍聴者は2名。

水谷知生委員長

案件1「生駒市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について」審議を宣告。

事務局に説明を求める発言。

事務局

資料2「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）」の策定の経緯、パブリックコメントなどの今後のスケジュール及び計画の内容について説明。

計画案の策定にあたっては、令和2年7月から、河瀬委員、上武委員のほか、学識経験者や公募市民で構成される一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定懇話会を5回開催し、ご意見ご助言をいただいた。また、市議会市民文教委員会が本計画をテーマに調査を行い、ヒアリングを実施したほか、調査を踏まえたご意見もいただいた。

本計画は現計画の反省も踏まえ、市民・事業者・行政がSDGsやゼロ・カーボンシティの考え方にに基づき、「誰もが環境に配慮した行動を続けられるまち」を基本理念とし、地域のコミュニティを活用するなど、持続可能な循環型社会の形成を目指すもの。

今後のスケジュールとしては、計画案を議会に周知後、パブリックコメントを3月19日から4月20日まで実施し、それらの意見を踏まえ、6月の議会で本計画を報告する予定。

計画案について、全体構成、新しい取組や主な項目を中心に説明。

本会議において、提出が間に合わなかった資料編については、語句の説明や、ごみ減量に関する個別施策の取組状況、本計画策定にあたって実施した、市民・事業者を対象としたアンケート調査結果、削減目標の算定根拠を記載する予定。

水谷知生会長

委員からの質問、意見を求める発言。

沢田かおる委員

12ページの表11 集団資源回収量と燃えるごみ収集時の古紙回収量の推移についてだが、ここには紙だけでなく古着、靴、鞆が含まれているのか。

事務局

表中の集団資源回収量には古紙・古着・靴・鞆が含まれている。

沢田かおる委員

現在コロナ禍の影響で、古着、ウエスの回収が難しくなっているため、令和2年度の集団資源回収量は減少するものと考えられる。したがって、12ページの集団資源回収の回収量の減少要因に加えるべきではないか。

矢田千鶴子委員

計画全体として令和元年度までの数値で記載しているため、令和元年度時点に統一すべき。

藤澤清二委員

古着、ウエスの回収について、これから先はどうするのか。

水谷知生会長

現在の状況では、先の見通しが難しいなか、当面は令和3年度どうするのかというところだと思う。

矢田千鶴子委員

資料編に記載される算定根拠を確認できていないが、ごみ排出量の削減目標である15%は妥当なのか。また、人口減少による削減分は除くべきでは。

河瀬玲奈副会長

人口減少分を含むかの議論は懇話会でもあった。計画中の内訳としては人口減少による自然減となっているが、この中には、今後の社会の変化による減少なども見込んでいる。それらも含み、全体として15%の削減を目標としている。

- 矢田千鶴子委員** 施策の実施による削減目標が約10%というのは設定として甘いのではないか。
- 事務局** 懇話会では低めの設定が良いという提案もあり、そういった指摘も踏まえながら現状の数値に落ち着いた。
- 水谷知生会長** 本計画に掲げている取組で、この目標を達成するには相当な努力が必要だと感じる。
- 当麻潔委員** 本計画では、市全体の削減量を指標としている。人口減の影響を除いた施策効果を図るために、人口1人当たりの削減量や、個別の施策による削減量を指標とすべきだと思う。
- ところで、本計画中で基本施策の実施による削減目標値が示されているが、基本施策⑧、基本施策⑨については目標値が設けられていない。これでは、削減効果を確認できないのではないか。
- 事務局** 基本施策⑧、基本施策⑨については、数値化できるかが読めず、今回目標には組み込めなかった。掲げる取り組みのなかで、幾ばくかの削減ができればということを示している。
- 当麻潔委員** 基本施策⑧、基本施策⑨の進行管理はどのように行うのか。
- 事務局** 取組の成果は、全体の削減量に現れる。
- 矢田千鶴子委員** 各基本施策がしっかりなされているかの確認ができれば、本計画の中間見直しの際に各基本施策の効果を確認できる。
- 基本施策⑧、基本施策⑨についても、何らかの指標で削減量を算出できるのではないか。
- 当麻潔委員** 現状では、全体として15%の削減目標があり、それに向けての各基本施策が掲げられているが、基本施策⑧、基本施策⑨に関しては、この削減目標に直接は影響しないということになるのでは。
- 事務局** 基本施策⑧の100の複合型コミュニティについては、ごみ削減に取り組んでいただけるかは分からず、不透明である。また、基本施策⑧、基本施策⑨での削減効果はプラスアルファとして、全体の削減量に現れるという考え方も持っている。
- 水谷知生会長** 目標の設定方法として、アウトプットとインプットの2通りある。本計画では、アウトプットである全体の削減量による評価はできるが、インプットである個別施策の評価はできていない。難しいのかもしれないが、計画の進捗管理をしていくうえでは、施策の効果を確認する必要はあるのでは。インプットの評価ができれば、中間見直しの際の議論も促される。
- 矢田千鶴子委員** 市の業務を受託する際など、きっちりインプットとアウトプットを求められる。市の施策の判断に用いる指標がアウトプット1つだけで、各施策の効果の検証ができない状態でも大丈夫なのか。
- また、削減目標の15%を達成するには、市民の積極的な参加が不可欠。市民の参加を促すためにも、施策の効果を可視化することや、計画をかみ砕いたリーフレットなどを作成することが有効ではないか。
- 当麻潔委員** 本計画については、環境審議会が進捗管理していくのか。
- 事務局** 本審議会での進捗管理は予定していない。懇話会メンバーも交えた新たな会議を設立する予定。

- 水谷知生会長** 市民も削減に貢献できるよう、明確な取組を記載したほうが良いと感じるが、現段階でまとめられるものはあるか。
- 事務局** 懇話会でも河瀬委員から同様のご指摘をいただいた。資料編で各基本施策の削減目標値の根拠は記載する予定。
- 水谷知生会長** 各基本施策の現状を確認できる、基準値のようなものを盛り込めたら分かりやすくなる。
- 事務局** 全体の排出量は早く確定することもあり、ここで比較したほうが分かりやすいのではないかと考える。将来の人口減少の影響などを予測するには、1人当たりの数字が分からなければ評価できないので、しっかりと考慮したい。施策による削減量も全体の排出量から見えてくるので、それを踏まえながら中間年ではしっかりと見直しを図りたい。
- 当麻潔委員** メインは全体の削減量であるが、サブの参考値として1人当たりの削減量も出してもらえたら。
- 矢田千鶴子委員** 事業系ごみについては、大型商業施設ができることでごみが増加してしまふ。そういった影響を踏まえた評価ができるといい。
- 事務局** 懇話会でも同様のご意見を頂戴した。事業系については、業種ごとにごみの出方は様々。今のところ、情報が不足していると感じているので、計画を進行するとともに、状況を把握しながら見直しをしていきたい。
- 水谷知生会長** 事業系ごみの排出量が何とリンクしているのかについて、整理していただき、中間見直しなどで反映してもらえたら。
- 事務局** 本計画については、この場で頂戴した意見と、パブリックコメントを反映して完成させていただく。
- 水谷知生会長** 案件1についての審議を終了する発言。
案件2「生駒市の環境について」審議を宣告。
- 事務局** 事務局に説明を求める発言。
- 事務局** 資料1「生駒市の環境」について、昨年度からの変更箇所や主立った取組を説明。
- 水谷知生会長** 委員からの質問、意見を求める発言。
- 河瀬玲奈副会長** 二酸化炭素排出量について、前年度の審議会では、算出が難しいという説明があったが、白書で記載されている数値は、手に入るデータだけで算出したものか。
- 事務局** 現状分かる範囲での算出値になっている。なお、電力については、令和2年度から送配電分離により、令和2年度分からは地域別の数値を算出することが可能。それまでの数値についてはわかる範囲で算出するほかない。ガスについても制度改正とともに把握できるようになるものと考えている。
- 水谷知生会長** データが不足しているなかでの数値は参考値という扱いになるのか？
- 事務局** その通り。
- 藤澤清二委員** 火葬場で使用している燃料は？
- 事務局** 燃料については灯油とA重油の混合。
- 藤澤清二委員** 生駒市はゼロ・カーボン宣言など、高い二酸化炭素排出量削減目標を掲げているが、火葬場における排出量削減については。

- 事務局** 今年度、火葬場の今後に向けての調査を実施中、3月末に結果が出るので、何らかの形でご報告させていただく。
- 藤澤清二委員** 火葬場の件については、以前から何度も指摘しており、懇談会の中で市長にも伝えているが、地元からもそういう意見がある。
- 楠正志委員** 令和元年度の再エネ発電容量の達成率は19.1%とあるが、今後どのような施策で目標達成を目指すのか。
- 事務局** ここでの目標値は、単なる施策の積み上げだけでなく、高い目標を掲げているという意味合いもある。達成に向け、市としては家庭向け太陽光発電の補助制度を継続するなど、少しずつ拡大してきている。加えて、市域に木質バイオマス発電所を民間主導で設立する計画があり、予定通り進むと令和5年度に竣工する見込みで、いこま市民パワーの電源としても活用する。これが叶えば達成率は大きく改善できると考えている。
- 楠正志委員** 民間バイオマス発電所の再エネが増加することで、目標の達成を図るといふことか。
- 事務局** 17ページの現状のバイオマス電源由来の約2,000MWhは市外の電源なので、市域の再エネには加味していないが、先ほど申し上げた、今後建設するバイオマス発電所は市域での開発になるので市内の電気となる。これによって、目標の達成が可能かはまだ分からないが、再エネ発電容量は大幅に改善されると見込んでいる。
- 楠正志委員** いこま市民パワーは設立理念として、エネルギーの地産地消・再エネの増加を掲げている。我々株主も配当を放棄している。いこま市民パワーには地域の再エネ拡大のために取り組んでいただきたい。
- 当麻潔委員** 10ページの温室効果ガス排出量削減目標として2050年に70%削減とあるが、ゼロ・カーボンシティ宣言都市としては100%の削減目標を掲げるべきでは。
- 事務局** あくまで本市における宣言はゼロ・カーボンシティを目指すという趣旨に賛同して加わったもの。計画に基づく目標値としては、2050年の70%削減というところ。ただし、これに向けた取り組みをさらに強く進めることでゼロ・カーボンシティの実現も目指す。
- 当麻潔委員** 再資源化率と、家庭系燃えるごみの1日あたりの排出量がマイナスになっているがなぜなのか。理由も掲載したほうが良いのではないか。
- 事務局** 要因としては、新聞の利用減少等による、紙類のごみの減少が考えられる。したがって、資源化にまわる紙類のごみが減ったのではなく、紙類のごみ自体が減少したことによるもの。これに伴い、再資源化率も下がってきているが、ごみの減少に伴うものなので、評価についての見直しが必要かも検討中。一般廃棄物（ごみ）処理基本計画ではこのことから、目標は資源化率ではなく全体の排出量を指標としている。
- 家庭系燃えるごみの1日あたりの排出量についてはなかなか進んでいないところではあるものの、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を推進しながら減量に向けて進めていきたい。
- 水谷知生会長** 本白書の役割として、ただ現状の数値を記載するだけでよいのだろうか。進捗が芳しくない取組については、その理由や背景についても記載す

ることで、読み手の理解が進むのであれば、掲載したほうがいいのか。文章として、生駒市が目指すものを記載するとわかりやすいのでは。

矢田千鶴子委員

1人1日あたりの排出量について、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画では、家庭系と事業系の合算で計算され、白書では家庭系のみで計算されており、2つの資料の間で別々の数字が記載されている。混乱を招いてしまうのではないかと。

事務局

検討する。

成田智樹委員

本白書は例年何部印刷しているのか。

事務局

製本部数は250。配布先は議会や市内学校、市内施設等での閲覧用

成田智樹委員

本白書について、UDフォントを導入することは検討しているか。

事務局

まだ対応できていないが、検討課題とさせていただく。

成田智樹委員

多くの方に活用していただくためにも、読みやすいものにしていただけたら。

事務局

今年度すぐご意見を反映することは、発送期日から逆算して、厳しいと思うが、次年度以降踏まえて対応したい。

水谷知生会長

案件2の審議を終了する発言。

案件3「その他」について審議を宣告

事務局

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画については、パブリックコメントを経て、確定次第、お送りするので、ご確認いただきたい。

水谷知生会長

審議会の閉会を宣言。

16時05分 閉会